



花き生産情報第1号【要約版】

平成28年4月20日発表
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

施設内の温度変化が激しい時期です。適正な栽培管理により高品質な花きの生産に努めましょう。

1 夏秋ギク

- (1) 8月上旬に出荷する作型で使用する苗は、生育が順調であることから定植作業は予定どおり進むことが見込まれる。
- (2) 今後の作業
 - ・挿し芽後は10～25℃を目安に管理し、定植1週間前からは徐々に低温にならし、順化させる。
 - ・定植作業を4月下旬～5月上旬までに行う。
 - ・4月から5月の晴天時は、施設の温度が急激に上昇するので、換気を行い適正な温度管理に努める。

2 トルコギキョウ

- (1) 苗の生育は順調で、3月下旬から始まった定植作業は6月にかけて行われる。
- (2) 今後の作業
 - ・は種直後は発芽適温である20～25℃で管理し、発芽が揃った後は徐々に温度を下げ、15～20℃で管理する。
 - ・定植は、活着促進のため定植床の地温を12℃以上で実施する。
 - ・8月上旬に出荷する作型では、4月下旬を定植の目安とする。

※アップルネット (<http://www.applenet.jp/>) に本文を掲載しています。

春の農作業安全運動を展開中です（4月1日～5月31日）

決め手は土づくり！「日本一健康な土づくり運動」展開中！

◎農薬危害防止運動（5月1日～8月31日）

- 1 ラベルの記載事項を守りましょう。
- 2 防護服をしっかりと着用しましょう。
- 3 周辺環境への配慮をしましょう。

～農薬情報(http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/)～

報道機関用提出資料	
担当課	農産園芸課
担当者	冬の農業推進グループ 鹿内主幹
電話番号	直通 017-734-9485 内線 5081
報道監	農林水産部 津島農商工連携推進監 内線 4966